

平成18年8月25日  
財団法人  
原子力安全技術センター  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構

## 新型転換炉ふげん発電所における廃止措置安全性実証試験について

財団法人 原子力安全技術センターでは、平成16年度より文部科学省殿の委託を受け、原子力機構の「ふげん」の施設を利用・活用し「試験研究炉等廃止措置安全性実証等（研究開発段階炉の調査）」を実施してきており、今年度も8月28日から3月末にかけて「ふげん」における実証試験を以下のとおり行います。

なお、文部科学省殿では、本事業を通じて、福井県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」にも協力しております。

### 1. 実施内容

解体実証試験として、昨年度の「ふげん」の重水精製装置Ⅰの一部（中間タンク等）を用いた小規模試験の成果を踏まえ、今年度は解体試験対象範囲を拡大し、解体時の作業性や発生廃棄物中の残留放射能等に係るデータを取得します（図1参照）。

また、「ふげん」の構造材の放射エネルギー測定等の試験も実施することとしており、現場での試料採取等の作業を8月28日より開始します。

原子力機構は、本事業に係る作業安全の確保と試験の円滑な実施に全面的に協力するとともに、重水精製装置Ⅰの解体実証試験の実施にあたって、事前に解体対象機器のトリチウム除去等の作業を行います。

### 2. 実施期間

平成18年8月28日～平成19年3月末

以上

H17年度に取外し済  
(H18,3現場公開)

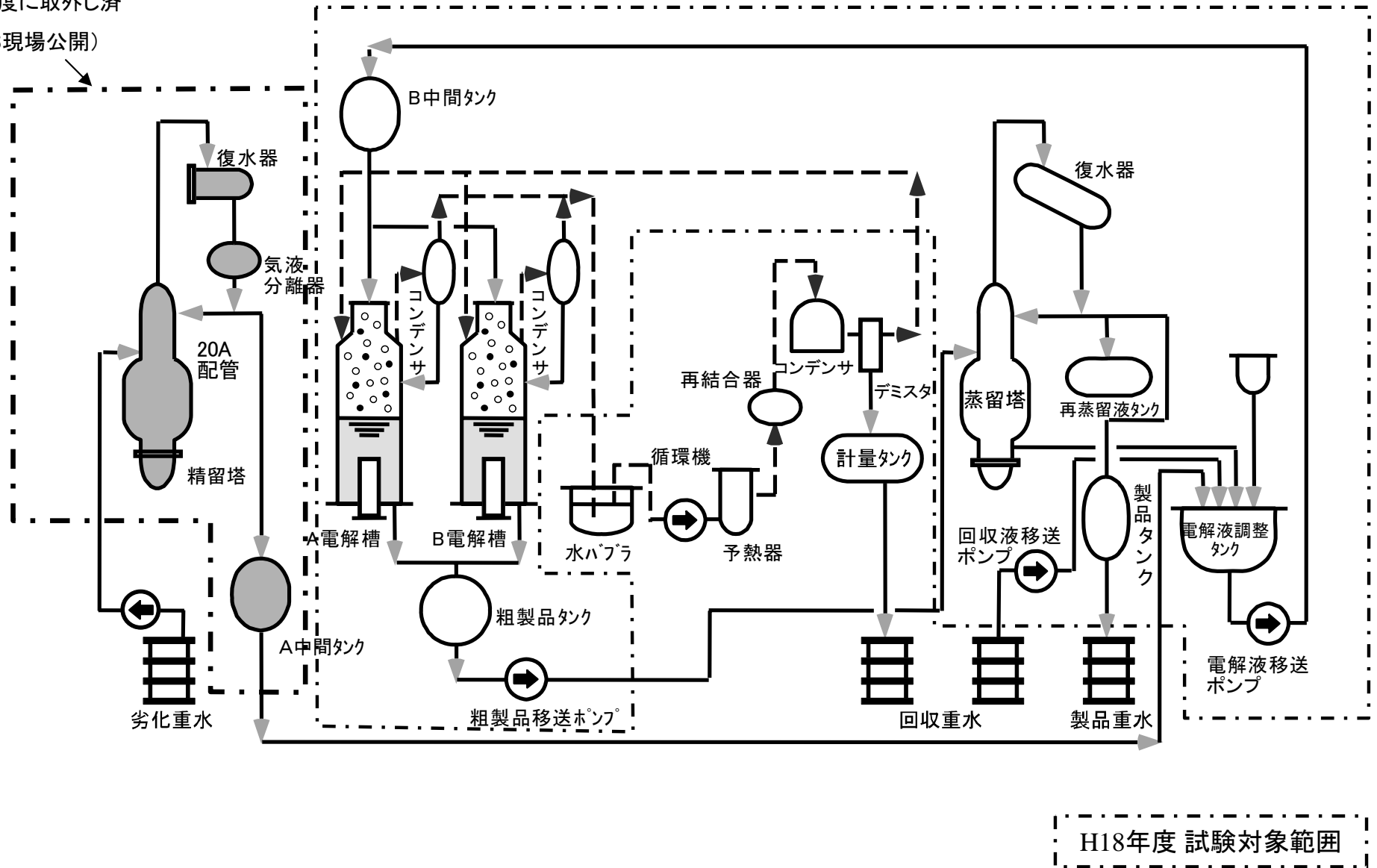
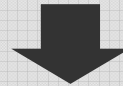


図1 重水精製装置 I 解体実証試験対象範囲

# 平成18年度 試験研究炉等廃止措置安全性実証等 委託(研究開発段階炉の調査)

## 事業目的

研究開発に供した原子炉施設等の廃止措置に伴い発生する放射性廃棄物に関する安全性を実証



試験研究炉等の廃止措置に対する国民の理解促進

### プラント調査

(コンクリート、金属類の試料分析)

- 建屋、機器、保温材等の残留放射エネルギーの体系的な評価手法の検証

### 除染技術調査

- 解体廃棄物の放射能分離のための除染技術の調査
- 実機機器類を用いた予備的実証試験
- コンクリート再利用調査

## 試験研究炉等の廃止措置



### 解体廃棄物最適化工法調査

- 解体廃棄物の処理・処分の安全性を考慮した最適工法の調査・検討
- 解体実証試験の実施

### 解体廃棄物管理支援システム構築

- 解体廃棄物の発生から処分・再利用先までの管理を支援するシステムの検討・構築
- 廃止措置に係る理解促進のための学習システムの構築

「ふげん」を活用